

北海道総合地質学研究センター 第三回公開講座 (2019年2月23日)

北海道教育委員会平成30年度後期道民カレッジ連携講座 (教養コース) 指定

後援 札幌市, 札幌市教育委員会, 一般社団法人北海道地質調査業協会



海と陸の本当の違い

— 砂漠のオマーンで見る海底下 40 km の岩石の世界 —

アラビア半島の砂漠の国オマーンは、海底下数十 km までの岩石の積み重なりが観察できる世界でも稀な場所です。オマーンの世界や人々の生活の紹介もまじえ、海と陸の本当の違いや地球に海が存在することの意義について解説します。



1 億年前の深海底上に流出した溶岩 (オマーン)

講 師 / 宮下純夫 (北海道総合地質学研究センター)

北海道江別市出身、北海道大学理学部卒業、理学博士、新潟大学名誉教授、元日本地質学会会長、北海道をはじめ世界中の現在及び過去の海洋地殻の研究に従事

日 時 / 2019年2月23日(土) 13:30-15:30 (13:15 開場予定)

会 場 / かでの 2.7 北海道立道民活動センター (札幌市中央区北2条西7丁目5階550会議室)

参加費 / 1,000円 参加定員 / 30名

申込期限 / 2019年2月16日 (参加定員まで余裕があれば前日まで受け付けます)

参加申込・問合せ先 / E-Mail: office@hrcg.jp Tel: 080-3296-8848 (担当: 前田)

主 催 / 北海道総合地質学研究センター (HRCG)

地球は水惑星と言われているように、地球表面の3分の2以上は海に覆われています。海の存在は地球を生命溢れる惑星としてきました。もし地球に海が存在していなかったら生命は誕生しなかったでしょう。

一方、地球には大陸や日本列島のような陸地も存在しています。海と陸との違いは海水に覆われているかいないかだけかと思っている方が多いかもしれませんが、実はこの二つには根本的な違いが存在しているのです。海と大陸や日本列島のような島弧とは高さ（標高）も大きく異なっているばかりでなく、地殻の厚さや構成している岩石、そしてそれぞれのでき方も全く異なっているのです。こうした二つの異なる地殻を持つのは地球だけなのです

講義では海と陸との本質的な違いについて紹介するとともに、通常は深い海の底に隠されている海洋地殻が陸上に最も大規模に出現しているアラビア半島のオマーンでの実際の例について解説します。

オマーンはアラビア半島の東端に位置している砂漠に広く覆われた国ですが、一億年前の海洋地殻—上部マントルがそっくり露出しており、NHKのグレートネイチャーでも紹介されました。雄大なオマーンの世界やそこでの生活の紹介もまじえて解説します。

なお、陸地に存在する過去の海洋地殻はオフィオライトと呼ばれていますが、その存在は過去に壮大な大変動が生じていることを示しているのです。

地質学について知識のない方にもわかりやすく解説します。



講演者のプロフィール

宮下純夫 (みやした すみお)

北海道総合地質学研究センターシニア研究員、同理事
新潟大学名誉教授、日本地質学会会長・新潟大学中越地震事務局局長などを歴任

略歴

北海道江別市生まれ

1970年 北海道大学理学部地質鉱物学科卒業、

1979年 同大学院博士課程修了

1984年 新潟大学理学部・自然科学研究科にて教育・研究に従事、北海道やオマーン、太平洋を中心とした世界各地の過去及び現在の海洋地殻の研究に取り組む。

2018年 故郷北海道へUターン、江別市在住